報告資料

令和元年度 中国・四国ブロック評議員意見交換会の開催について

全国健康保険協会 広島支部
協会けんぽ

■開催日時　　令和元年12月10日（火）　14：00～17：20

■開催場所　　サン・ピーチOKAYAMA（岡山市北区駅前町2-3-31）

■出席者

【評議員】 各支部の評議員（各支部１～２名）
広島支部からは、江頭議長と井田評議員が出席

【支　部】 各支部の支部長、企画総務部長等
広島支部からは神田支部長と中谷企画総務部長が出席

【本　部】 藤井理事、十文字保健第一グループ長

■議題　１．保健事業について
①　保健事業の現状と課題
②　保険者機能強化予算を活用した保健事業の取り組みについて
広島支部は、健康づくり講座と未治療者に対する受診勧奨について報告。

２．事前質問・要望事項への回答および意見交換

■広島支部評議員の意見（抜粋）

・保健事業に対する事業主の理解が得られ難いとあるが、事業主側からは協会けんぽが事業主を理解していないという意識が非常に強い。保険料の半分を事業主が負担している中、利益が出て準備金がたまっている状態にも関わらず保険料率を下げずに事業主にお金も返さないで、この表現はいかがなものか。削除を要請したい。

　また、戦略的保険者機能の「戦略的」というのは戦争用語である。我々は誰とも戦ってないし、健康で幸せに生きることを望んで協会けんぽの運営をやっている。ぜひ、別の表現に変えてほしい。

・広島では地方のテレビ番組でインセンティブ制度について5分ほど放映。「頑張れば保険料率が下がる」というタイトルを出して、どんな取り組みで保険料率が下がるかについての広報を実施した。